

Inbanuma Park

印 旛 沼 公 園

- 総合公園 ●計画決定面積 5.3ha ●開設面積 5.3ha ●当初開設年月日 S56.3.31
- 所在地/印西市師戸 ■お問い合わせ/印旛土木事務所 TEL.043-483-1143

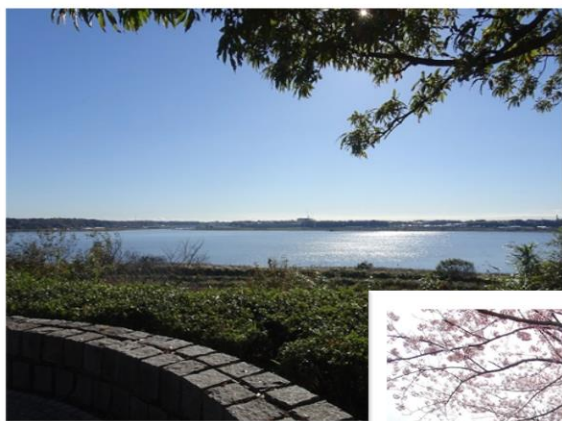
満点の解放感とともに、 印旛沼の大景観に見とれる

千葉県最大の湖沼である印旛沼には、季節に彩られた自然が色濃く残っています。その印旛沼を見下ろす小高い丘に広がるのが、印旛沼公園です。

印旛沼を一望できる展望台が魅力で、沼の周辺を巡るハイキングの途中で多くの人が立ち寄り、その景観を楽しめます。

展望台の周囲には花木園や芝生広場といったオープンスペースがあり、自由広場は野球にも利用されます。

サクラの季節には、こうしたオープンスペースがたくさんの花見客で賑わいをみせるほか、梅園を目当てに立ち寄る人も多く、季節の花をゆっくり鑑賞できるのも、この公園の魅力です。



▶ 展望台からの眺望



▶ 芝生広場と桜

COLUMN

▲丘の歴史

公園のほぼ中央にある自由広場。この広場を、子どもの背丈くらいの窪地がぐるりと囲んでいます。実は、この窪地にこそ、印旛沼公園の開設の秘密が隠されているのです。

この周辺は、鎌倉時代、当地の豪族・師戸四郎の居城だったといわれる場所で、印旛沼公園は、城址の保存を目的のひとつとして開設されました。子どもの背丈ほどの窪地は、濠跡というわけです。

空濠だけでなく、本丸や二の丸跡、土塁が残され、城郭の様子を知ることができます。

印旛沼公園はこれらの史跡をできる限り活用した施設配置がされています。

印旛沼周辺には、ほかにも、こうした史跡の保存と活用を目的に開設された公園は少なくありません。少し南に行くと、江戸時代に土井利勝が築城した佐倉城が佐倉城址公園となっています。

また印旛沼の東側の房総風土記の丘には、大小100基を超える龍角寺古墳群が残されています。こうした史跡公園を探訪するのも、印旛沼周辺を歩くひとつの楽しみ方かもしれません。

Information

■アクセス

京成本線 京成臼井駅から「印西牧の原駅南口」行きバスで「印旛沼公園入口」下車又は「日本医大」行きバスで「師戸」下車、徒歩5分

●駐車場

普通30台/身障者用2台

■主な施設

芝生広場/自由広場（軟式野球は使用可）/ちびっこ広場/展望台/梅園/花木園

施設利用申し込み：塚原緑地

研究所（指定管理者）

TEL.043-239-9953

